

甲賀市教育委員会

教育長 西 村 文 一 様

甲南第三小学校再編検討協議会 報告書

甲南第三小学校再編検討協議会(以下「協議会」)では、市教育委員会が示された「甲賀市幼保・小中学校再編計画」に対し、令和2年8月より5回にわたり、将来の子ども達の教育環境を最優先に協議を重ねて来ました。

甲南第三小学校は少ない人数ながら、特認校としての魅力発信のおかげで数名他地域からの児童も登校してくれています。甲南第三小学校の包容力や地域の優しさがこうした児童にも伝わっているものと思います。自治振興会の子ども会の研修旅行や地域のお祭りにも、地域の子ども達と同様に参加を促しています。特認校の制度をもっと活用して児童数の増加が見込まれるなら、甲南第三小学校の役割と存在感が増すものと考えます。現況、甲賀市教育委員会の指導の下、職員の皆さんの努力や工夫により少人数であっても、6年間の学校生活を有意義に過ごしてくれていることは保護者や地域共々感謝しております。

しかし、現状の甲南第三小学校の児童数や今後6年間の児童数を鑑み、他校との統合もやむを得ない状況ではあります。心情的には地域に愛されている甲南第三小学校の存続を希望するも、子ども達の学習環境を考えるとあまりにも少人数になることから苦渋の選択をすることになりました。但し、できれば、他校に吸収される形の統合は避けて頂きたい、3校区の合同の理解のもと新しい学校での再編統合を切に希望いたします。

開校以来110年以上の歴史ある甲南第三小学校は、地域と共に育み、地域によって支えられてきた大切な場所でもあります。学校の歴史や学びは、地域の歴史であり文化であり、人々の拠り所でもあります。統合により甲南第三小学校が取り組んできた野鳥を通じ命の大切さを学ぶ学習や、この地域の農作物を通じ、人々の出会いや地域の良さを発見する学習がなくなれば、地域に生きる気持ちが減少するように考えます。同時に、学校や登下校時に聞こえる子ども達の声が聞こえなくなると、この地域の人口減少により拍車をかける要因にはならないだろうか、地域の苦

悩と不安は統合によっても、現状のままであっても増すばかりです。

さらに、再編後の甲南第三小学校校舎の利活用にも考慮して頂きたいと思います。校舎は甲南第三学区の指定緊急避難所に指定されています。現在、どの場所においても大きな災害に見舞われる可能性があり、又南海トラフ巨大地震が近い将来に高い確率で起きるとされています。地域の安全と安心のため緊急避難所として活用可能な利活用をお願いします。

子ども達の未来のため、子ども達や学校の個性を尊重した再編を期待します。数字あわせでの統合ではなく地域性や文化や土壌などいろいろな条件を鑑み再編を進めて頂きますよう要望します。

教育委員会におかれましては、今後とも甲南第三学区の子ども達の学習環境の向上と、地域発展のため御尽力を賜りますようお願いいたします。

令和3年1月12日

甲南第三小学校再編検討協議会
委員長 中野和彦